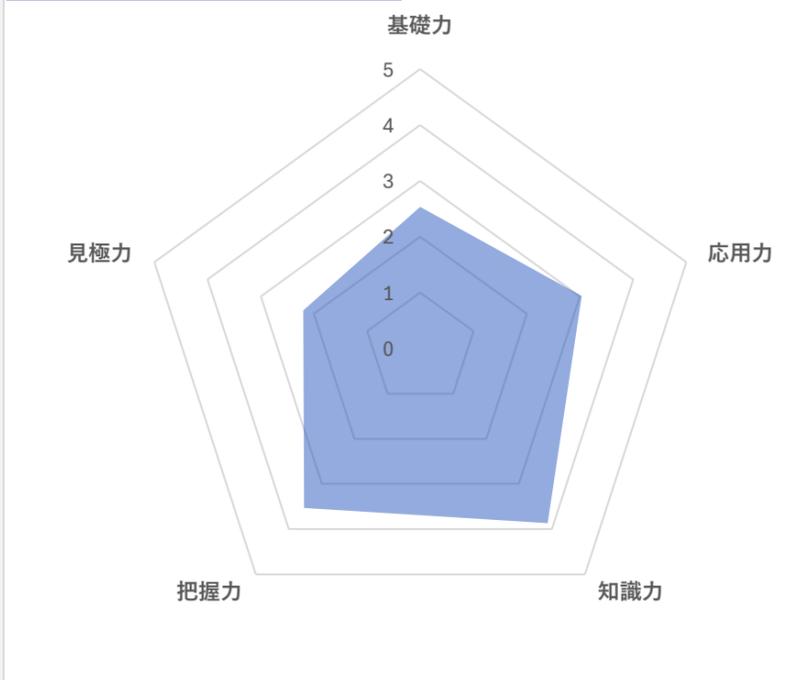


総合分析

試験区分	一般（後期）
------	--------

制限時間	60分（理科2科120分）	大問数	全3問
------	---------------	-----	-----

合格に要する能力（5段階）

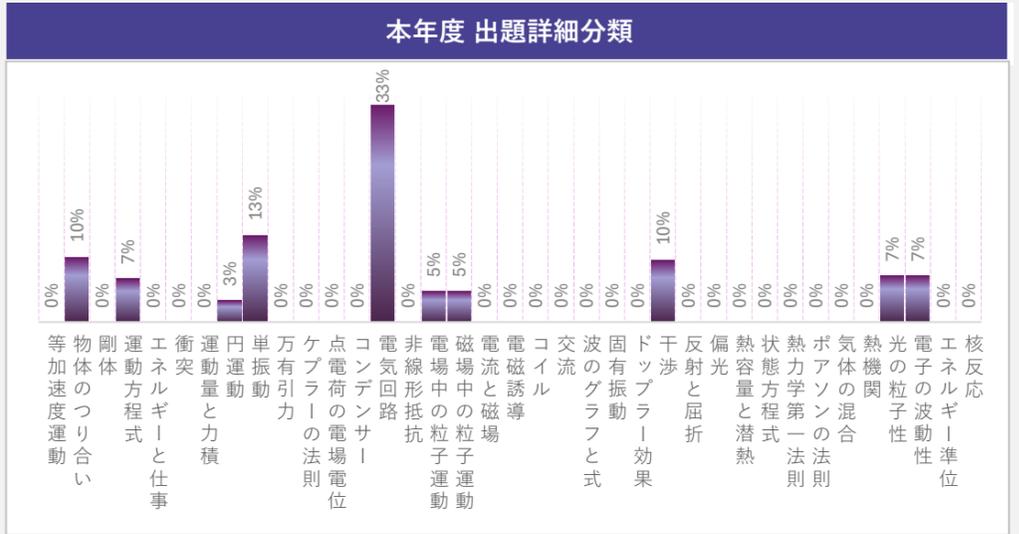


合格に要する能力（5段階）		
基礎力	2.3	原理についての理解
応用力	2.8	演習経験による慣れ
知識力	3.7	用語を正確に覚えているか
把握力	3.3	臨機応変に状況を把握する力
見極力	2.0	解きやすい問題を選択する力

出題分野	
力学	33%
電磁気学	43%
波動	10%
熱力学	0%
原子物理	14%

本年度 解答形式	
穴埋め記述	100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	力学小問集合
第2問	検流計
第3問	光電効果と電子線干渉



特殊問題の有無	近似計算あり	グラフなし
正誤問題なし	理由記述なし	数値計算あり

特記事項 第2問のテスター問題では何をもって測定値とするかを判断するには充実した問題経験を要する

総合評価

難度	2.8	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	68%
分量	48分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや少ない	標準	

入試の特徴と対策

- 概ね法則の運用に関する応用的な出題である。物理計算への慣れが必要となる。
- 同時に複数の事柄への理解を要する出題が多い。独力で解法を組み立てる力を要する。

入試から見る 大学が求める学生像

設問誘導が簡素であり、モデルの説明も少ないので問題演習経験が充実していないと題意が把握できなくて全く歯が立たないこともある。考える力を測るとい側面は少ない。経験したことがあるかどうかで大きく差が出る出題になっている。しかし、入試典型から大きく外れることはないため、標準的な演習で問題ない。マークシートではないので選択肢を選ぶ手間もない。総じて、医学部を目指して堅実に努力してきた軌跡を評価しようとしていると思われる。